

地域情報誌
2012年2月
創刊号 (No1)

DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

(で)
DE すがね 創刊！！

DE (デ) = スペイン語の前置詞「～の」
須金「の」 須金による 須金のための地域情報紙



生きがいのある須金をつくる会

会長 内山浩昭



●創刊にあたって

皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

早いもので、新年2012年がスタートして1ヶ月が過ぎました。

さて、この度、須金の行事予定や各団体の取組みなど、地域の様々な情報を発信するために、コミュニティ紙「DE すがね」を創刊しました。

創刊の今月号から隔月で皆さんにお届けしたいと思います。

須金は過疎化が進んでいますが、地域の活性化に向けた様々な取組みが始まったり、新しく須金で生活を始められた方がいらっしゃるなど、少しずつではありますが、地域が元気を取り戻しつつあります。

私はいつも、須金の皆さんは「心は過疎じゃない」というお気持ちを持たれていると感じており、私自身も強くそう思っています。

これからも、皆さんと楽しく地域づくりを行っていくために、このコミュニティ紙がその役割を担う一端となればと願っています。

須田浩史 (すだひろし) さん

Q. 8月から須金に移住されましたが、経緯を教えてください。

東京の大学卒業後、出版会社で働いていましたが、近所の畑を借りて子供と野菜を作るうちに、農業への思いが強くなりました。インターネットで情報を探し、縁があって福田フルーツパークで働かせていただいています。

Q. ご出身は？

群馬県の中央部にある赤城村（現在、渋川市）です。

Q. ご家族を紹介してください。

妻の加弥子、娘の莉々子（4才）、息子の青慈（1才）の4人家族です。

Q. 奥さんとの出会いは？

大学1年生の時、ダンスサークルで知り合い、10年間の交際を経て結婚してもらえました！

Q. 趣味は？

以前は、DJ（ディスクジョッキー）をしていましたが、子供が生まれてからはしていません。今は、子供と遊ぶこと、それと読書が趣味です。

Q. 将来の夢を教えてください。

いずれは、サクランボやブルーベリーを作っている群馬の実家の農園を継ぎたいと思っています。（でも、須金がとても好きなので、どうなることか）

Q. 須金のみなさんに一言お願いします。

これからも末永くよろしくお願いします！

（インタビュー：須金公民館 周山健太郎）

人物紹介



福祉コーナー

須金地区「高齢者見守り・支え愛活動」が立ち上がりました

この事業の目的、目標は、周南市の基本理念「もやい、で進める街づくり」と「絆を大切にしたい街づくり」です。

生きがいのある須金をつくる会（安心、安全部）が市の助成事業に申請し、採択されました。今後具体的な活動状況を報告したいと思います。

今回は周南市から配布されるチラシの活動要点を、重複しますが掲載しますので、地区の皆さんのご協力をお願いします。以下の四つです。

- 1 ご近所で声を掛け合いましょう。まずは「あいさつ」から！
- 2 回覧板などの配布物は手渡しでしましょう。回覧板手渡し運動を進めましょう。
- 3 身近な小地域で、お互いが高齢者の方を、さりげなく見守りましょう。
- 4 ご近所、近隣で、普段と違うことがないか、めくばり・気配りしましょう。

私たち一人ひとりが、できることから始めましょう。（文/須金地区民生児童委員協議会 広実文博）

★イベント情報★

「まちづくり・ひとづくり講演会」が開催されます！

福岡県八女市星野村在住で、財団法人星のふるさと所属の土居元さんをお迎えして、郷と人が元気になるための講演会が開催されます。是非、ご参加ください！

日時：平成24年3月10日（土）13：00～

内容：13：00～13：30 劇団「わ」公演

場所：須金農村環境改善センター

13：40～15：00 福岡県八女市星野村 土居 元氏 講演

参加費：無料

15：10～ まちづくり意見交換会/デザイン広場

定員：100名

申込先：うちの郷事務局 渡辺さん080-2913-3590 fax0834-86-5823

フルーツランドだより
(文/福田陽一)

2011年に須金フルーツランドのPR曲ができました。
なし・ぶどう祭りで発表しましたが、今回は歌詞を掲載します。みんなで歌ってね。

「いこうよSUGANE」
作詞作曲 SFB48
(須金フルーツバンド48)

①
夏の日差しでこんがり
虹がきれいな雨あがり
通りすがりの
のんびり屋さがり
電波つながり誘うから
一緒にいこうよSUGANE
祭りとともに始まるこの季節
※ガリガリガリガリなしガリ
ガリガリガリガリぶどうガリ
SUGANEの梨は
おいしいって話 (は梨)
ガリガリガリガリなしガリ
ガリガリガリガリぶどうガリ
僕がたくさんとるから
これ全部どう? (全ぶどう)

②
夏バテぎみの病みあがり
暗がりの中を手さぐり
やることなすこと
八方ふさがり
そんな時には立ち止まって
一緒にいこうよSUGANE
祭りとともに始まるこの季節
※繰り返し

③
僕はいつでも暑がり
でも心はいつも寒がり
強がりばかりで
ホントは淋しがり
だから今年は君と僕 一緒に
いこうよSUGANE
※繰り返し



(写真：SFB48)



STOP! 犯罪 駐在所から



儲け話には裏があります!

- もうすぐ上場します。今が買い時の未公開株をあなただけに教えます。
- ネットで副業しませんか?
- 海外宝くじが当選しました!
- 儲かる海外事業への投資がありますよ。

「すぐに」、「誰でも」、「楽に」、「絶対に」儲かる。こんな話はありません。

おかしいな、不安だなと感じたら、すぐに駐在所(☎86-2320)又は周南市消費生活センター(☎22-8321)に相談してください。(山崎)



デイサービスお達者だより



『ご長寿万歳編』
村田アヤ子さん (上市)

百歳を迎えられた村田アヤ子さん
(明治44年11月7日生) に
長寿の秘訣を教わりました。

-百歳おめでとうございます。長生きの秘訣は?
村田さん「毎朝、欠かさず30分くらい散歩をします。家の前の赤い橋を渡って中原が見える辺りまで・・・それと、写経を書くのが趣味です。」

-他には?
村田さん「この指体操をやります。(下の写真)これは、昔、富山の薬屋さんが須金に売りに来た時、私に『これをやってみんさい・・・健康にいいから・・・』と教わった」
平成23年11月8日
デイサービス「百歳お祝い会」より



(写真：指体操)

郵便局からのお知らせ

郵便

カタログ販売
各種満載



明るい笑顔でお待ちしております

貯金

保険

旬の味わい
3月より受付開始

詳しくは窓口で (須金郵便局 二家本友江)

須金地区主な行事予定（2～3月）

2月

- 2月3日（金）須磨小学校地域参観日
- 2月5日（日）クリーン大作戦
人権教育講演会
- 2月6日（月）自治会長集会
- 2月7日（火）和紙絵展（1/30～）終了
- 2月9日（木）市県民税申告相談
- 2月10日（金）やまびこ号巡回日（須磨小）
- 2月12日（日）それ一ねの日
- 2月25日（土）、26（日）
ツリークライミング講習会
- 2月28日（火）やまびこ号巡回日（須磨小）

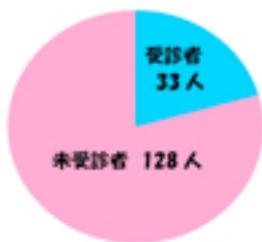
3月

- 3月10日（土）まちづくり・ひとづくり
講演会
- 3月11日（日）それ一ねの日
- 3月13日（火）須磨小学校地域参観日
- 3月16日（金）須磨小学校卒業式
やまびこ号巡回日（須磨小）
- 3月19日（月）コミュニティ理事会

特定健診を受けよう！



平成22年度 周南市国保の
特定健診または人間ドックの受診者数
須金地区：33人（受診率 20.5%）



平成24年2月29日 までに

受診券を持って今すぐ受診を!!

周南市保険年金課 特定健診担当

番：0834-22-8384 FAX：0834-22-8314

※DE すがね無料配信サービスのお知らせ

ご希望のかたは下記アドレスまで住所・氏名・連絡先および「配信希望」と明記の上、メールをお送りください。
 なお、お送りいただきました個人情報につきましては、DE すがね配信サービス以外には一切使用いたしません。
 mail:desugane@gmail.com



特別連載 須金歴史探訪

秋月丸の謎 その一

文 高橋 勝己

このコーナーでは、須金の先人たちが残してくれた「須金村史」や「須金の史跡」をはじめ、須金にまつわる資料をもとに、須金の歴史や名所を紹介してゆきたいと思っています。

第一回目は、秋月丸の謎についてお話ししたいと思います。須万の地の名付け親である秋月丸は、中納言源雅頼（まさより）の子として江戸時代に書かれた「須万盛衰記」の中に記されています。そこで私は源雅頼についていろいろと調べてみました。すると源雅頼は壇ノ浦の合戦後も生存しているという事実でした。また雅頼は平安時代、平清盛に仕え、福原造営の折、朝廷の御所の設計建設に携わっていたということでした。なぜ源氏である雅頼が秋月丸の父親として伝わってきたのか謎が深まります。「須万盛衰記」の作者の創作だったのか、それともそのように信じていたのか。平家の落人である秋月丸は実は源氏の子孫なのか？この矛盾をどう解釈すればよいのか。・・・

今回はここまでしかお話しできませんが、次回以降その謎を私なりに解き明かしてゆきたいと思っています。お楽しみみに。



写真：秋月丸邸跡（長谷御所ヶ谷）

須金せせらぎ短歌会～今月の一首～

山里を荒らす群猿

今日は見ず

柿に大根獲れて安堵す

今田雪恵（長谷）

編集後記

僭越ながら、創刊号より編集を務めさせていただきこととなりました。「DE すがね」の「DE (テ)」に込められた意味は「～の」、つまり須金「の」人々、全てが主役のコミュニティ紙です。近々、皆様の元にも取材に伺わせていただきます。その際は是非、よろしく願います！（須田）